

# 令和6年度 青少年の健全育成に関する意識調査 報告書

## 概 要 版

岩手県環境生活部 若者女性協働推進室

### 【調査概要】

#### ● 目的

青少年健全育成に関する県民の意識や行動について調査を行い、現状の県民意識や行政に対するニーズを把握すると共に、今後の青少年の健全育成の基礎資料を得ることを目的とする。

#### ● 対象者

- ・ 岩手県内に居住する少年（中学生・義務教育学校後期課程の生徒・高校生）500人
- ・ 少年の保護者 500人
- ・ 満20歳から39歳の青年1,500人

#### ● 調査時期

令和6年9～10月

#### ● 回収状況

少年	480人	（回収率96.0%	男性：238	女性：234	その他：4	性別無回答：4）
保護者	483人	（回収率96.6%	男性：76	女性：403	その他：0	性別無回答：4）
青年	339人	（回収率22.6%	男性：150	女性：189	その他：0	性別無回答：0）

#### ● 実施主体

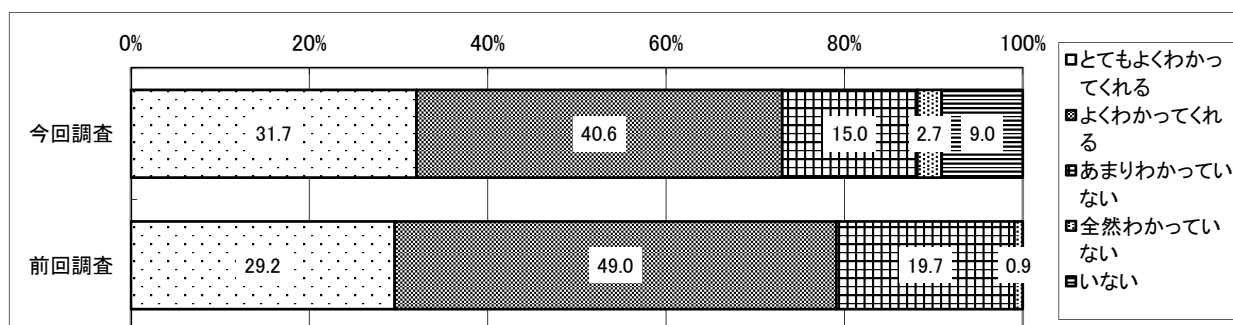
岩手県環境生活部 若者女性協働推進室

# 1 親子関係について

○ 親子の間での相互理解の状況は、7割以上が、気持ちを「わかってくれる」と回答していますが、前回調査と比較すると、親が自分の気持ちを「わかってくれる」と回答した少年の割合が減少しています。

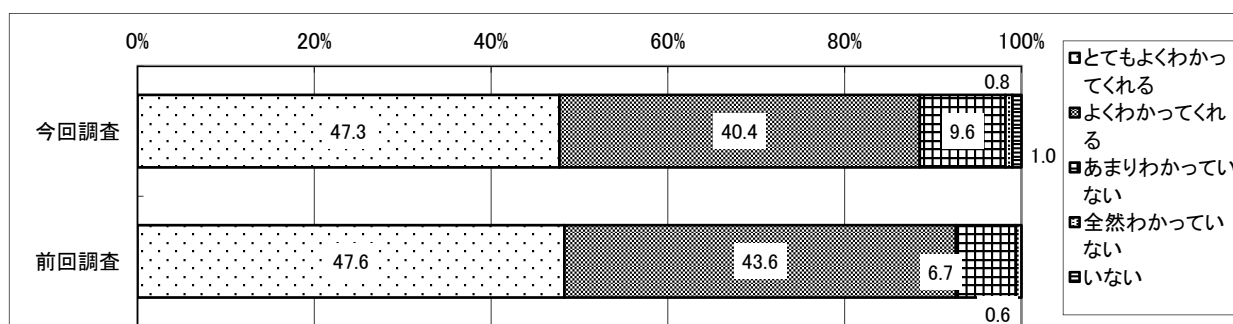
問 お父さんはあなたの気持ちを理解していると思いますか。(1つ選択)

少年



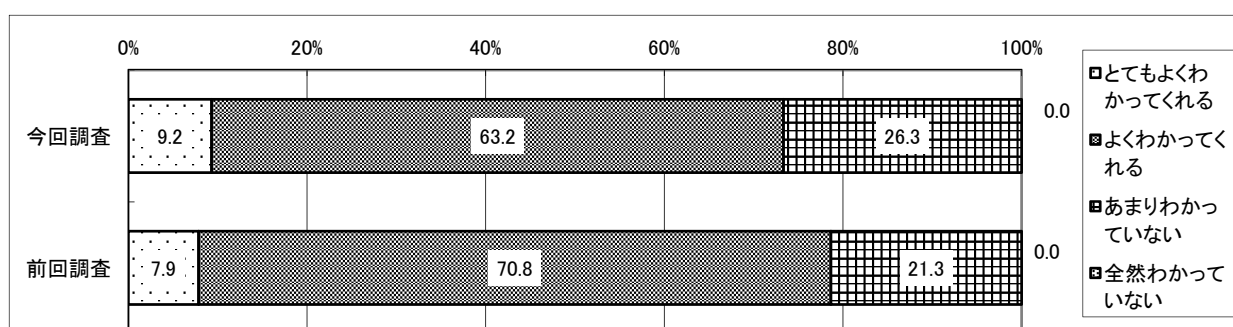
問 お母さんはあなたの気持ちを理解していると思いますか。(1つ選択)

少年

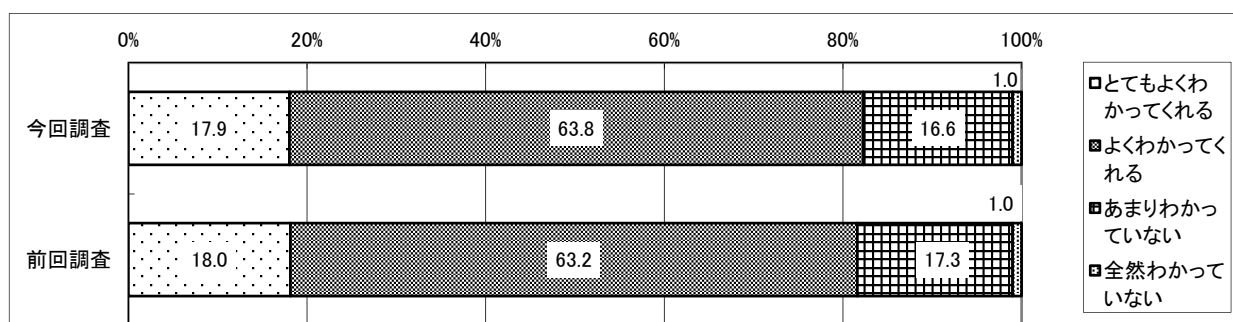


問 お子さんはあなたの気持ちを理解していると思いますか。(1つ選択)

保護者(父)



保護者(母)

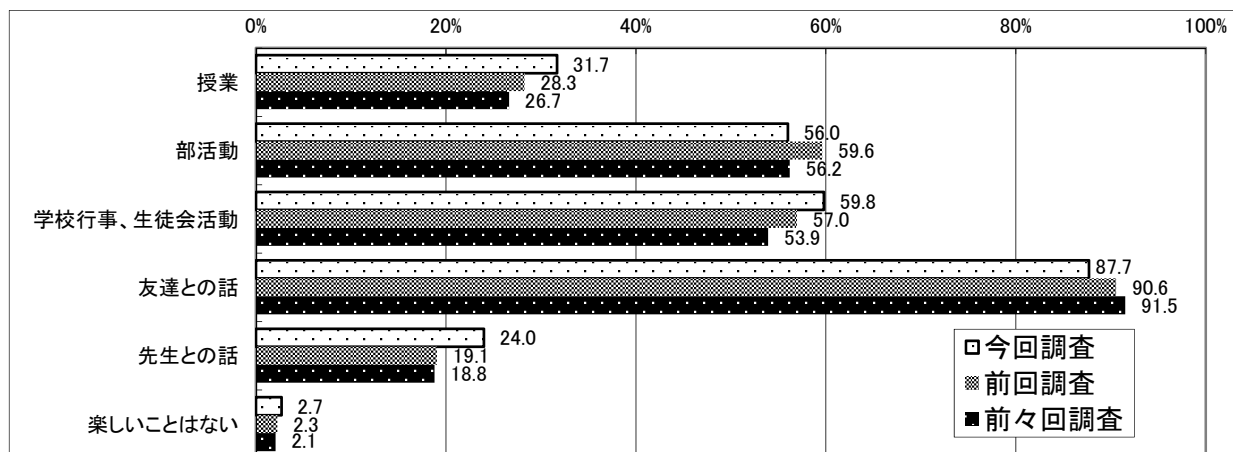


## 2 学校生活について

○ 前回調査に比べて、学校生活に対する不満は減少しましたが、授業のことや学校の規則に不満を抱えている人が少なくありません。

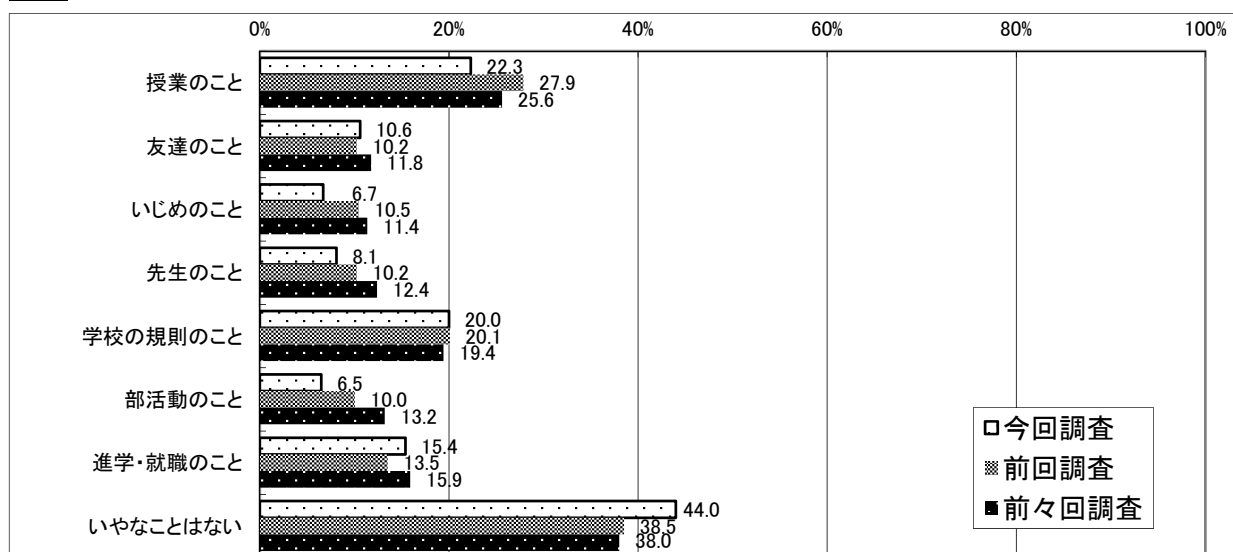
問 あなたが、学校生活で楽しいと思うことは何ですか。（あてはまるもの全て選択）

少年



問 あなたが学校生活でいやだと思うことは何ですか。（あてはまるもの全て選択）

少年



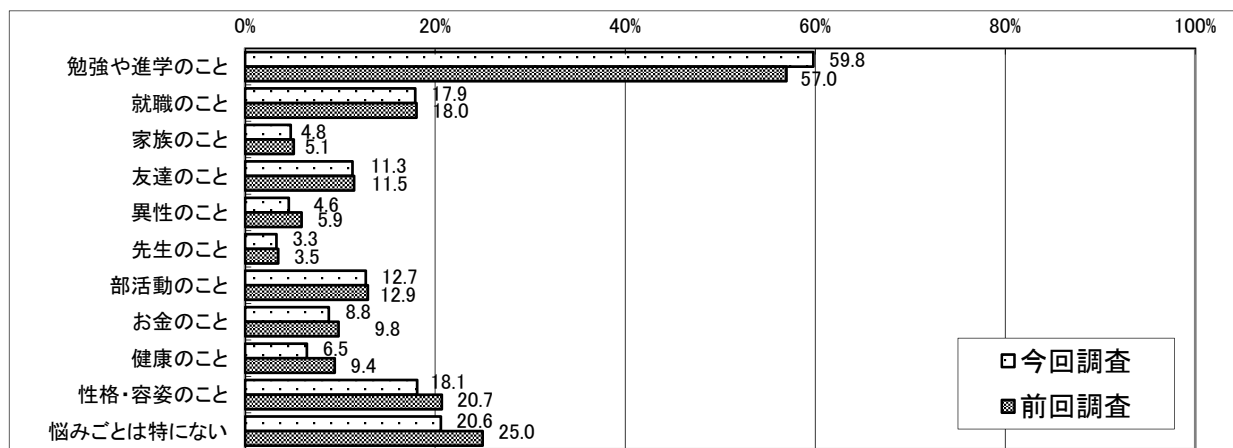
※グラフから無回答を除いています。

### 3 悩みごとについて

- 少年・保護者ともに、勉強や進学に関する悩みが多くなっています。
- 悩みがある青年が多く、特に、将来やお金、学校や仕事に関するものが多くなっています。
- 悩みの相談先としては、家族や友達が多い一方、約1割の青年が悩みの相談相手がいないと回答しています。

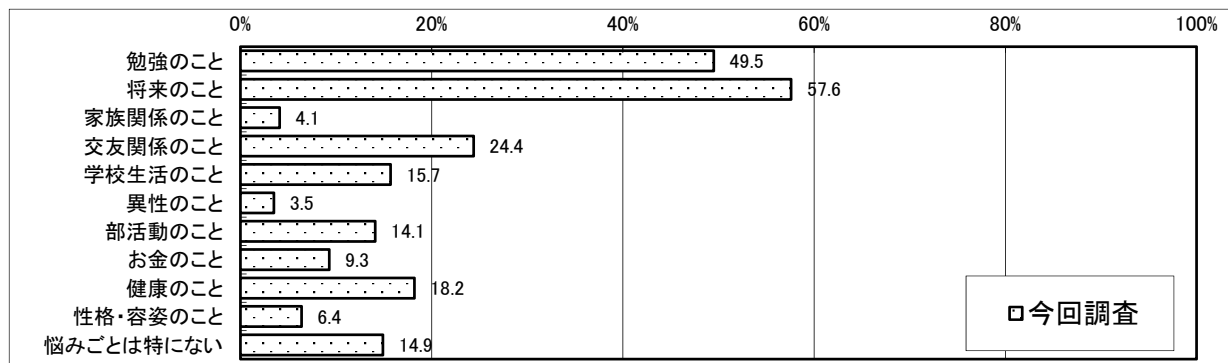
問 あなたの現在の悩みは何ですか。(あてはまるもの全て選択)

少年



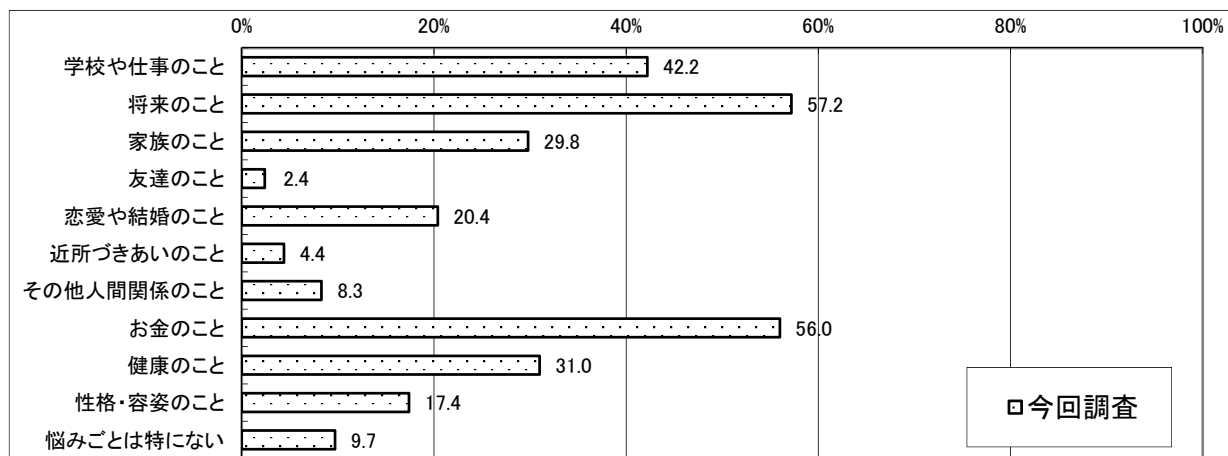
保護者

※少年について心配していること。今回調査において選択肢を見直したため前回調査との比較なし。



青年

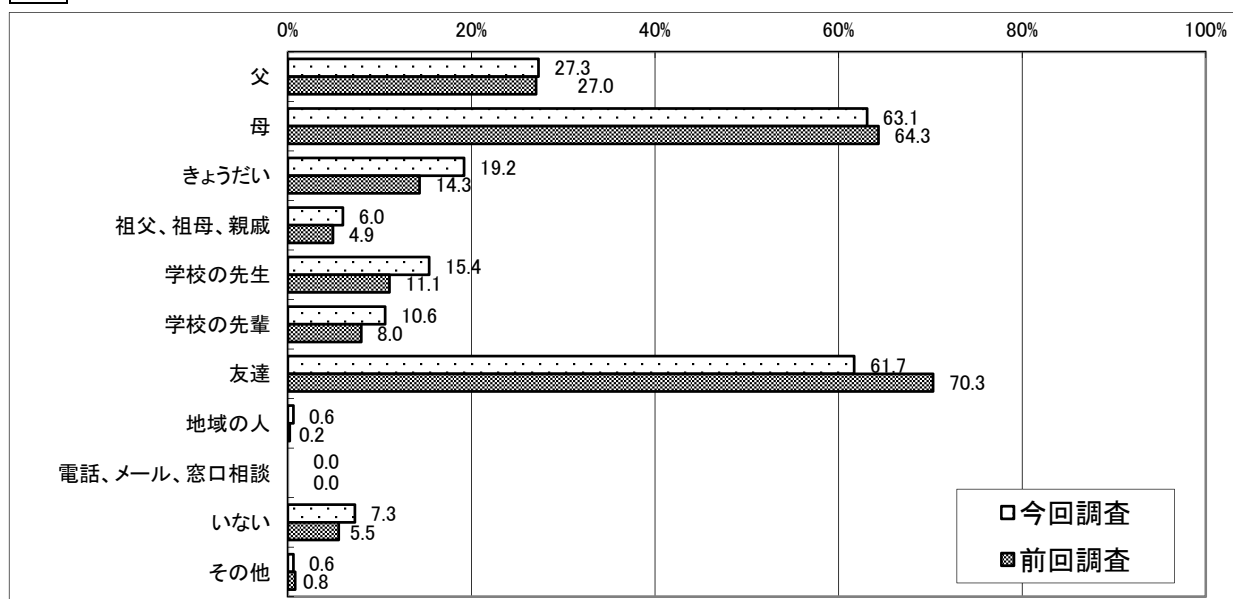
※前回調査は学生である青年限定の設問だったため比較なし。



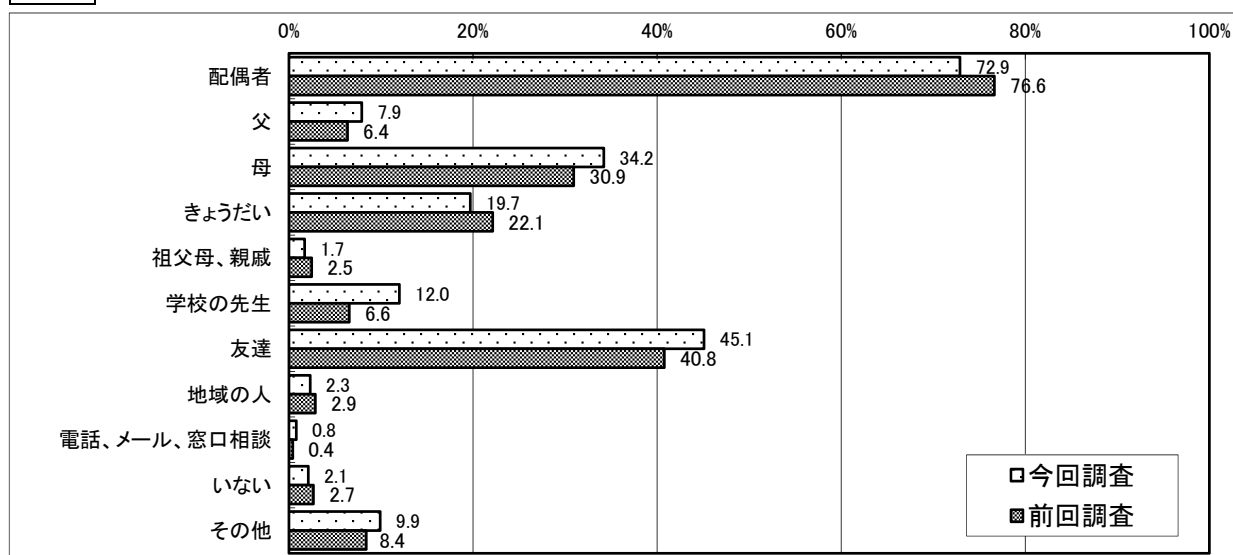
※グラフから無回答を除いています。

問 悩みごとや心配ごとがあるとき、あなたがよく相談する人は誰ですか。(あてはまるもの全て選択)

少年

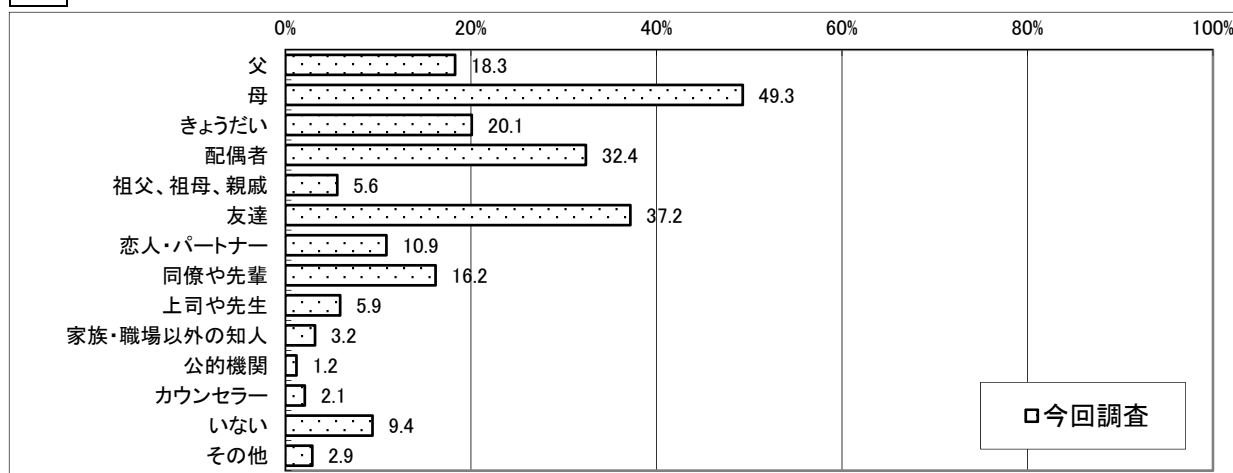


保護者



青年

※前回調査は学生である青年限定の設問だったため比較なし。

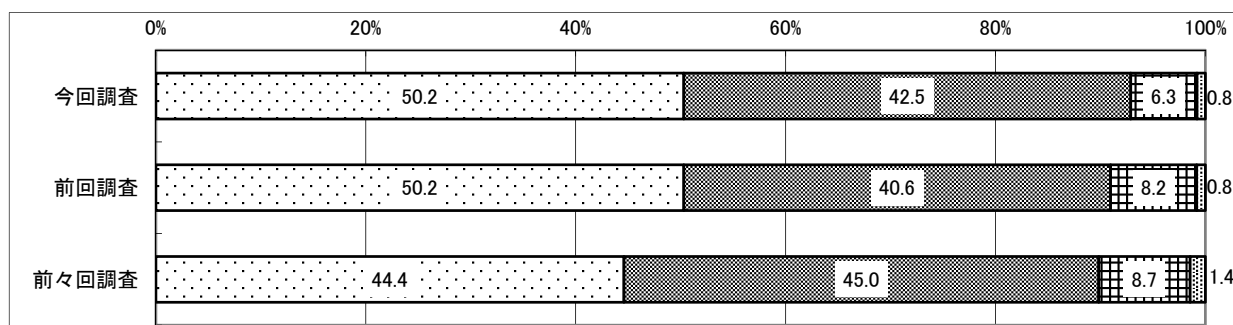


## 4 地域社会について

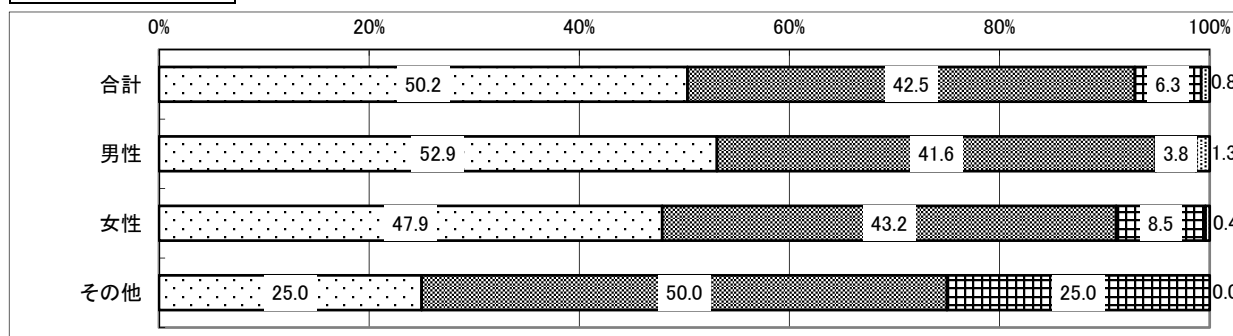
- 地域への愛着は、前回調査よりやや増加しました。
- 少年について、男性より女性の方が、住んでいる地域への愛着が低い傾向がみられました。

問 あなたは、今住んでいる地域が好きですか。（１つ選択）

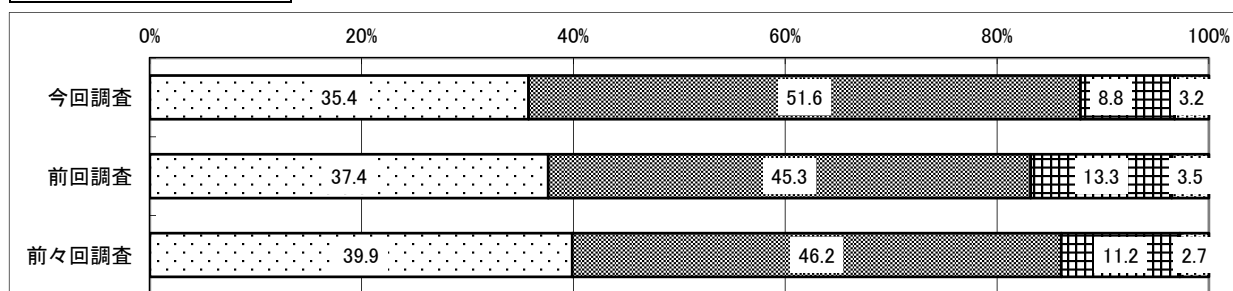
少年（調査時期ごと）



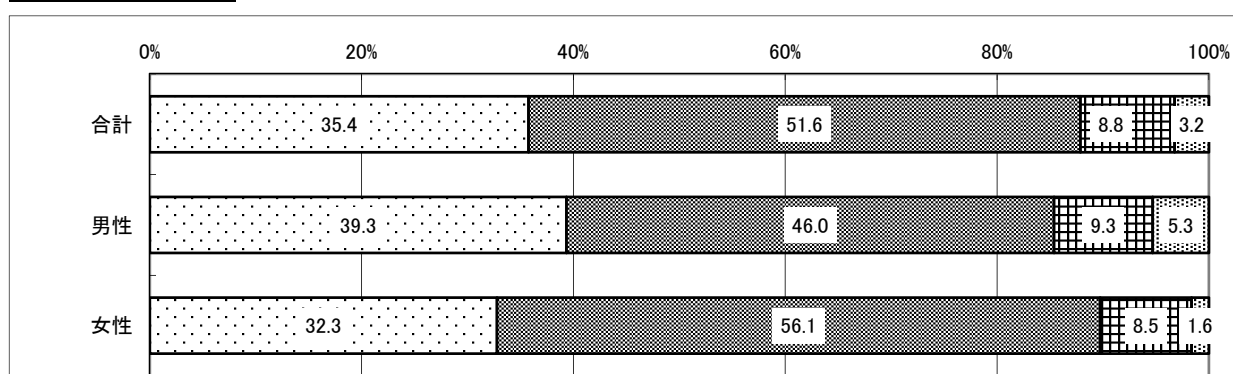
少年（性別ごと）



青年（調査時期ごと）



青年（性別ごと）



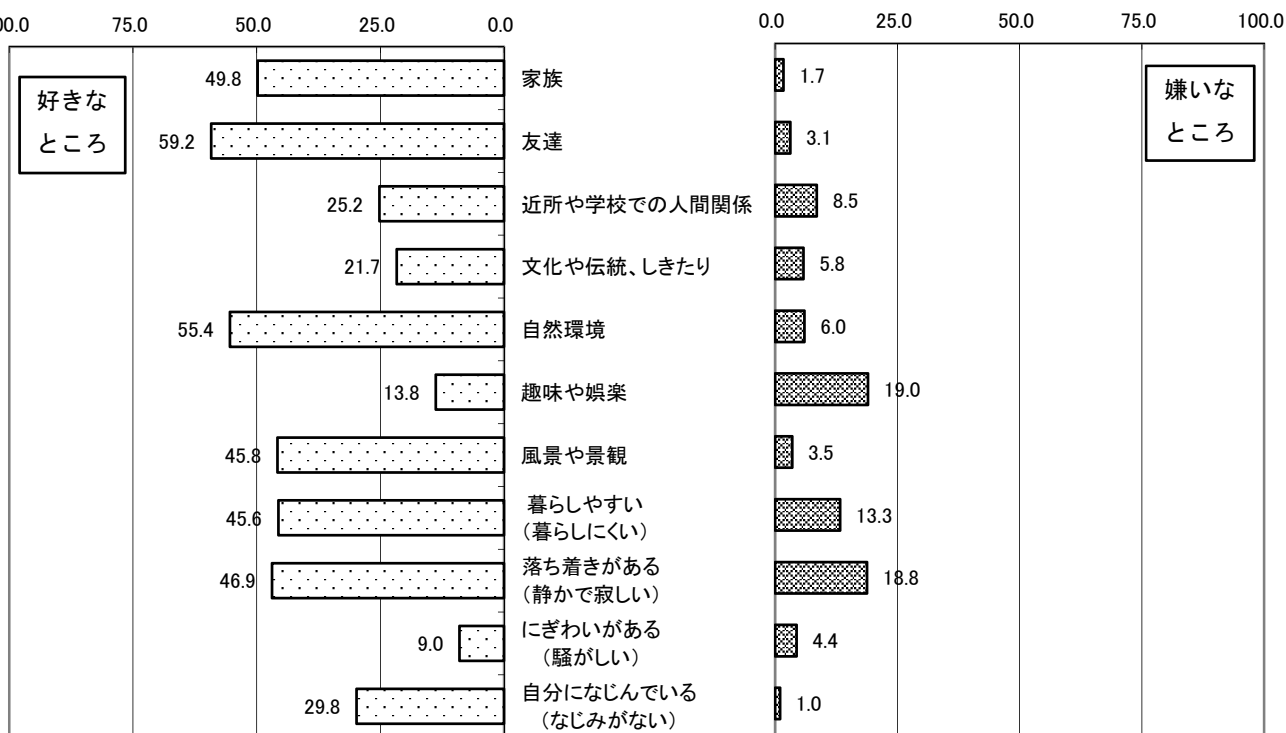
好き
  どちらかといえば好き
  どちらかといえば好きではない
  きらい

※グラフから無回答を除いています。

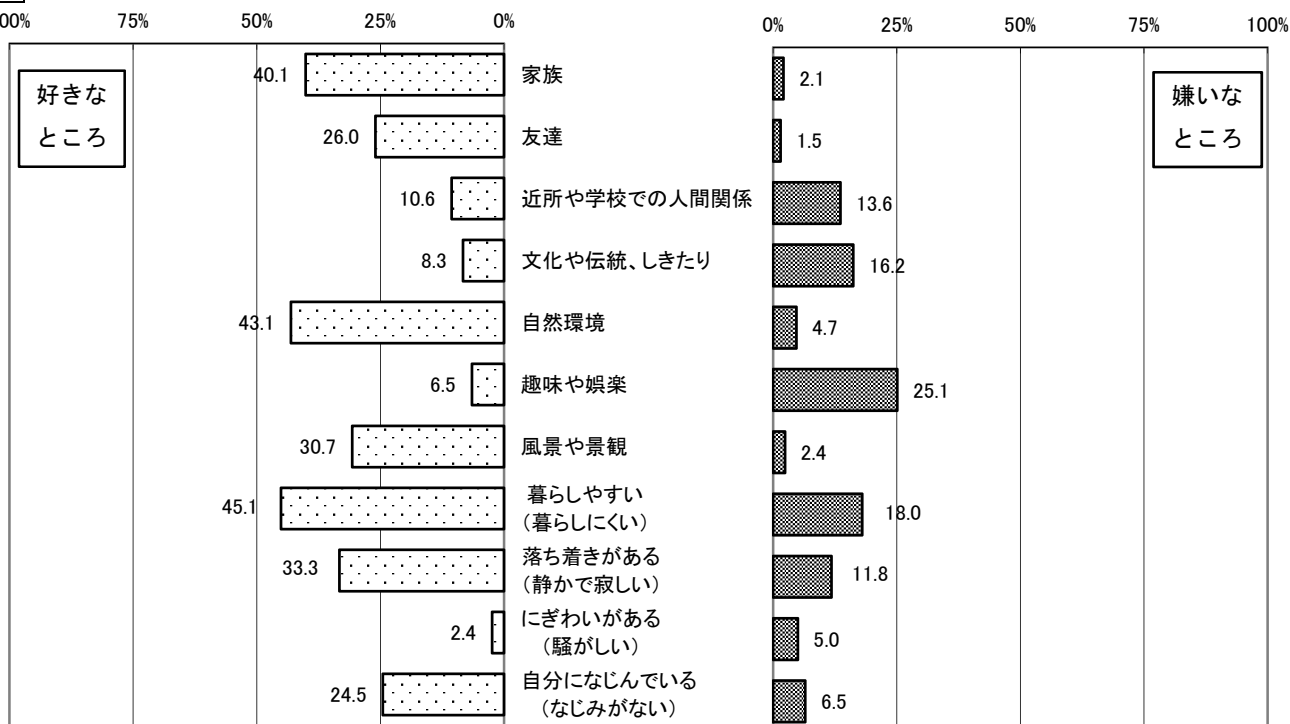
- 住んでいる地域の好きなところとして、家族や友達など人間関係のほか、自然環境や風景、景観など岩手らしさを象徴する項目が多く挙がりました。
- 一方、嫌いなところとして、趣味や娯楽の不足、静かで寂しいといった、楽しさや賑わいに関する項目が挙がりました。

問 あなたが今住んでいる地域の好きなところ・嫌いなところはどんなことですか。(あてはまるもの全て選択)

少年



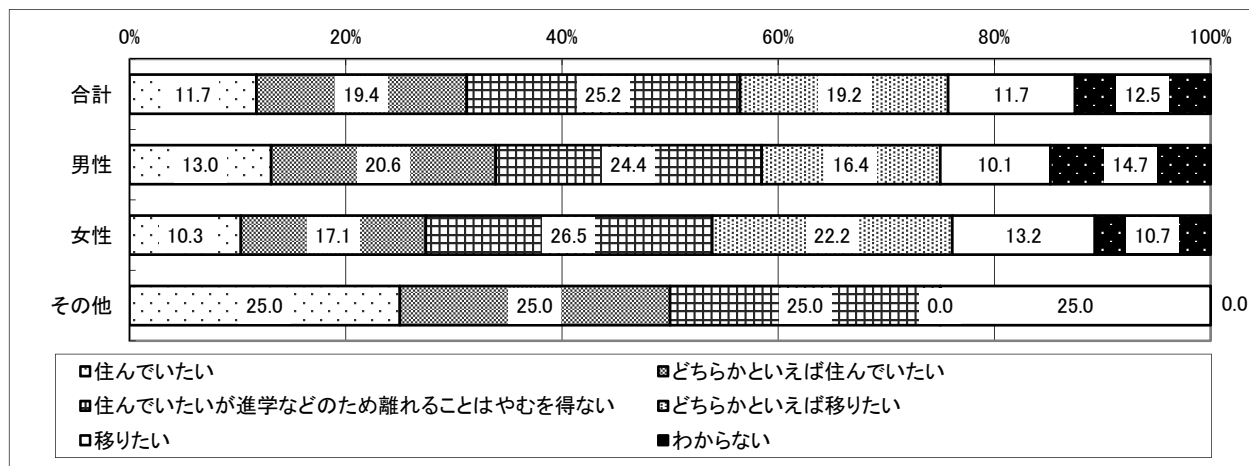
青年



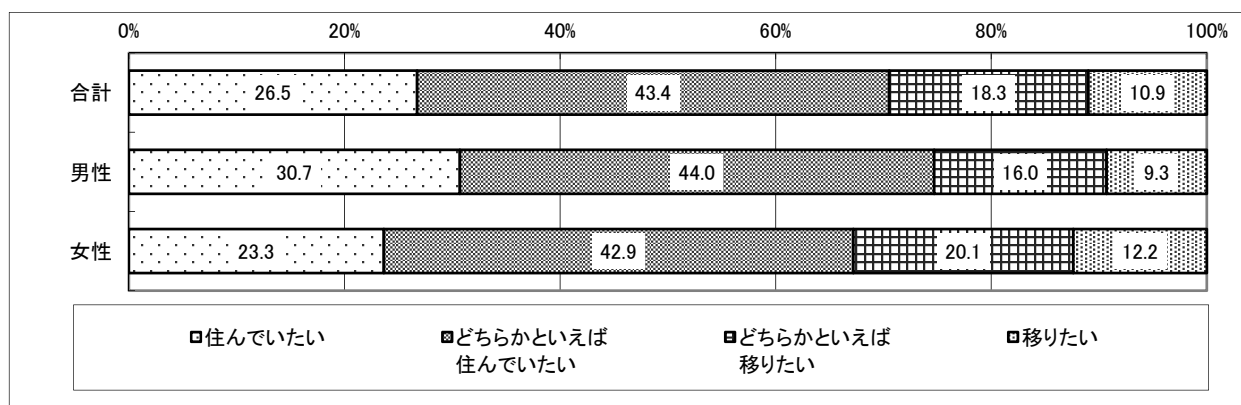
- 今住んでいる地域に住んでいたいと考える少年は半数を超えています。進学などのため離れることはやむを得ないと考える割合も少なくありません。
- 男性より女性の方が、地域に住み続けたい意識がやや低い傾向がみられました。

問 あなたは、将来も今住んでいる地域に住んでいたいと思いますか。(1つ選択)

#### 少年



#### 青年



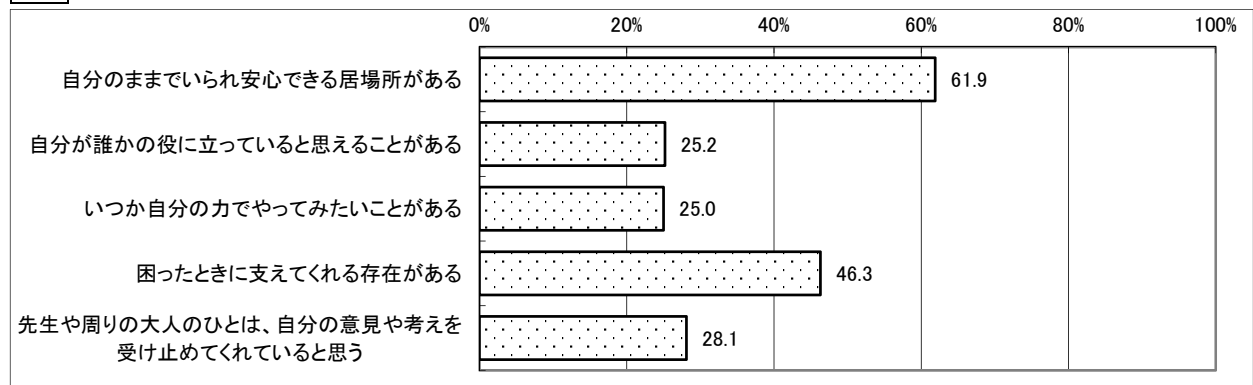
※グラフから無回答を除いています。



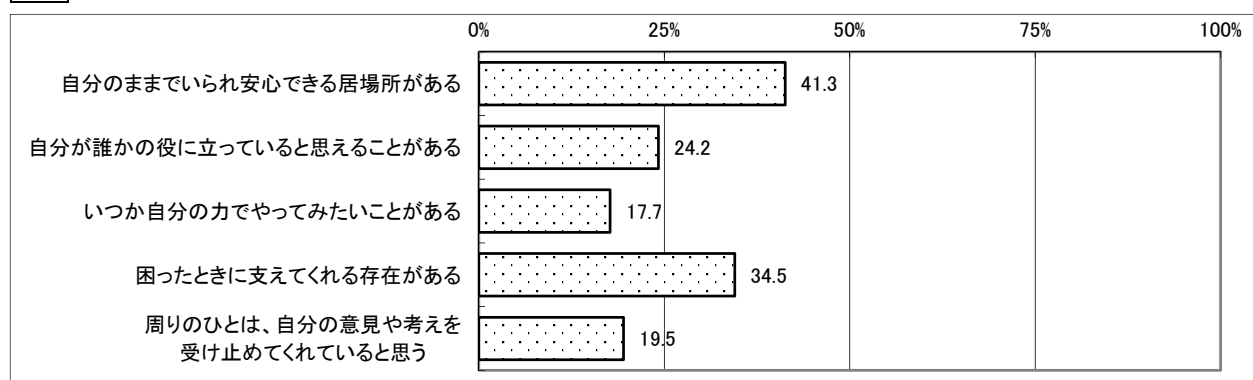
○ 地域社会の一員としての認識について、「自分のままでいられ安心できる居場所がある」、「困ったときに支えてくれる存在がある」という回答が上位である一方、「いつか自分の力でやってみたいことがある」という回答の割合は低くなっています。となりました。

問 あなたは、地域社会の一員としての自分についてどう感じていますか。（あてはまるもの全て選択）

#### 少年



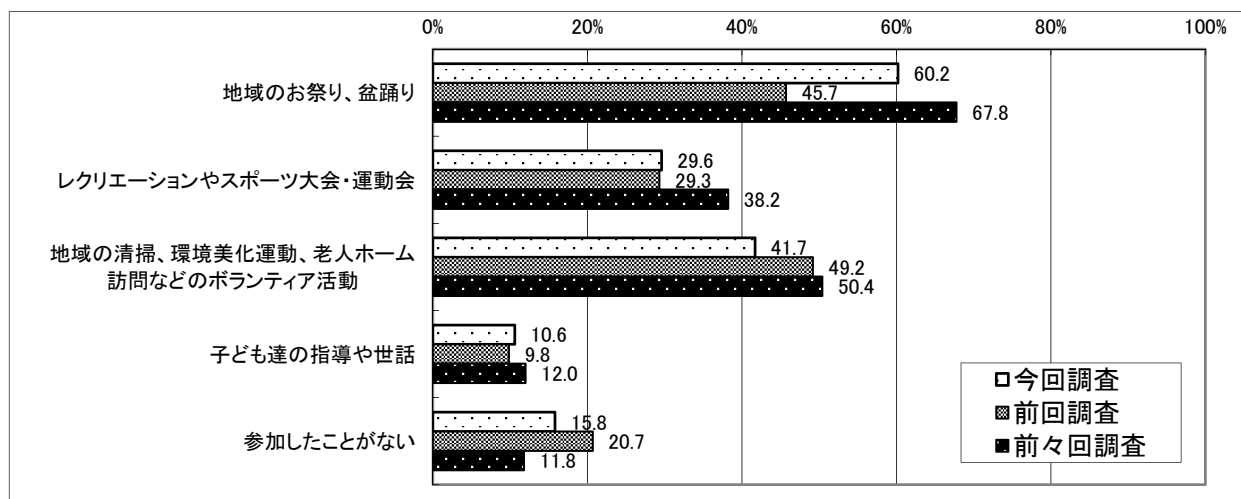
#### 青年



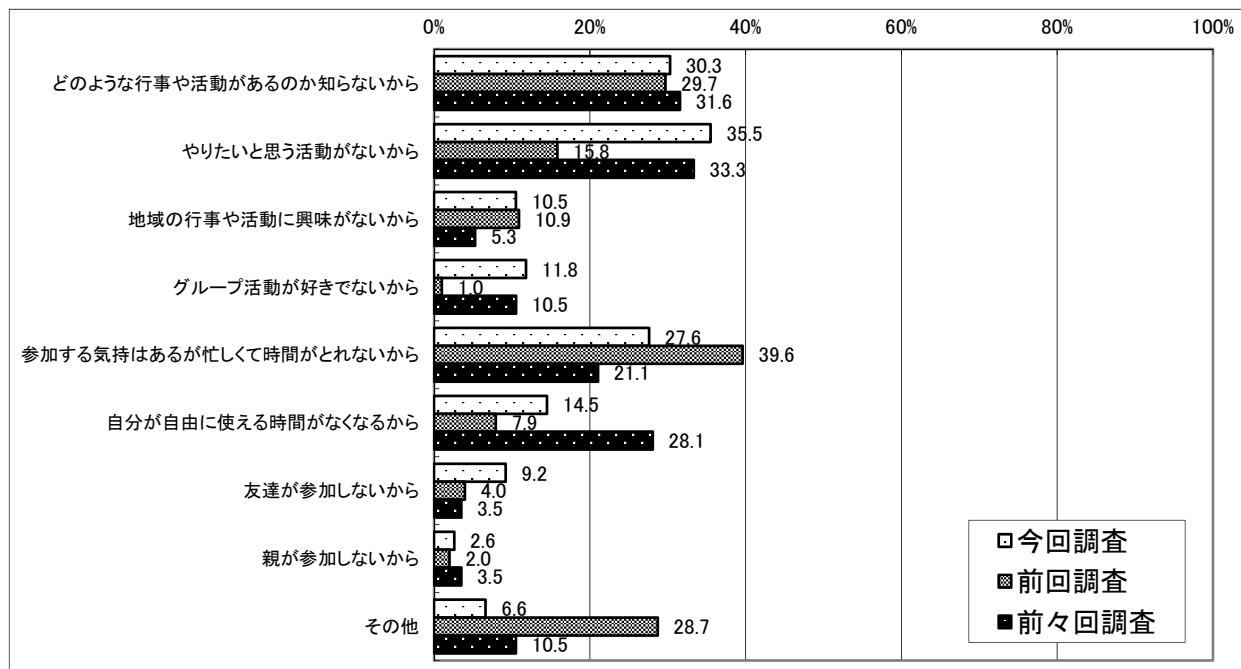
- 各種社会活動への参加状況は、コロナ禍にあった前回調査（R3）から増加したのもありましたが、コロナ禍前の前々回調査（H30）よりは少ない状況です。
- 約5割の青年が、若者自身が企画し実施するプロジェクトへの参加に関心を持っている一方で、忙しさなどを理由に社会活動に参加したことのない青年もいます。

問 あなたは、中学校・高等学校に入学してから、地域における活動など社会活動に参加したことがありますか。（あてはまるもの全て選択）

少年

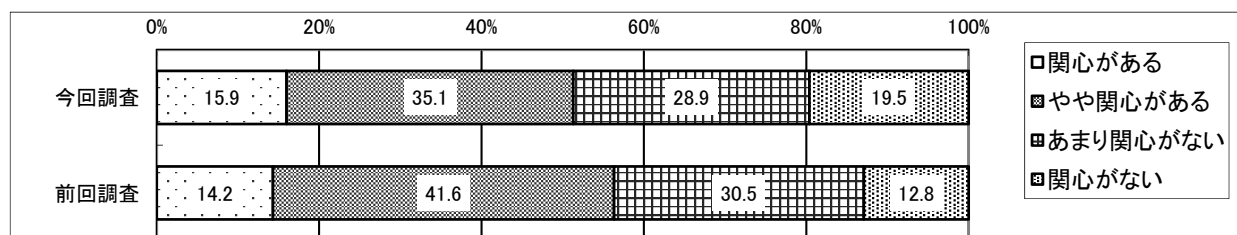


問 （上記の問で「参加したことがない」を選択した人）参加しなかった理由は何ですか。（2つまで選択）（N=76 男性=38 女性=36 性別無回答=2）



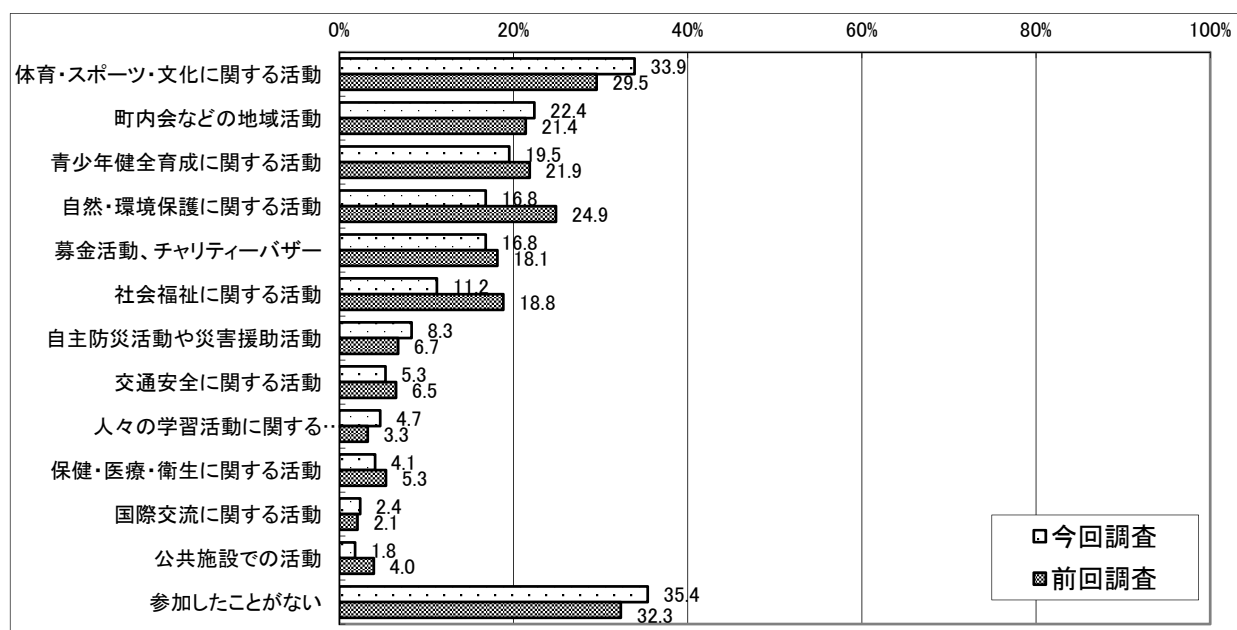
問 あなたは、若者自身が企画し実施するプロジェクトに参加することに関心がありますか。（1つ選択）

青年



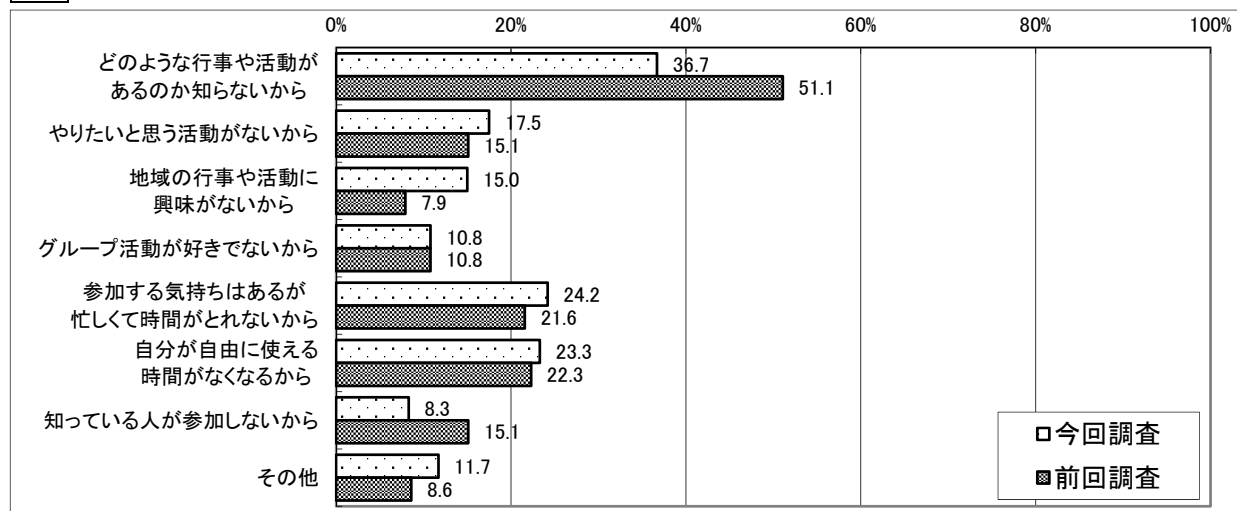
問 あなたは、次のような活動に参加したことがありますか。（あてはまるもの全て選択）

青年



問 （上記の問で「参加したことがない」を選択した人）参加しなかった理由は何ですか。（2つまで選択）（N=120 男性=53 女性=67）

青年

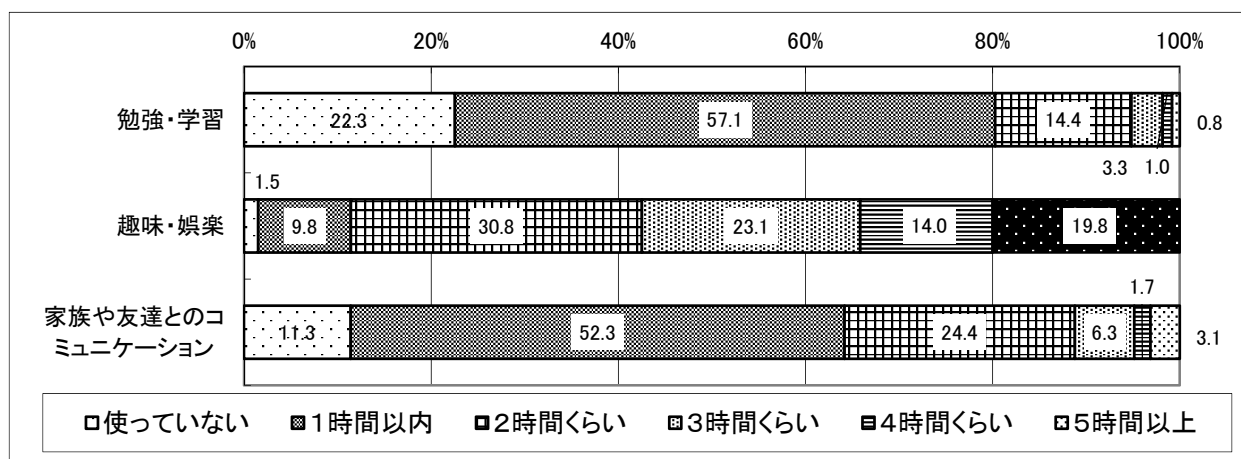


## 5 インターネット・SNSの利用について

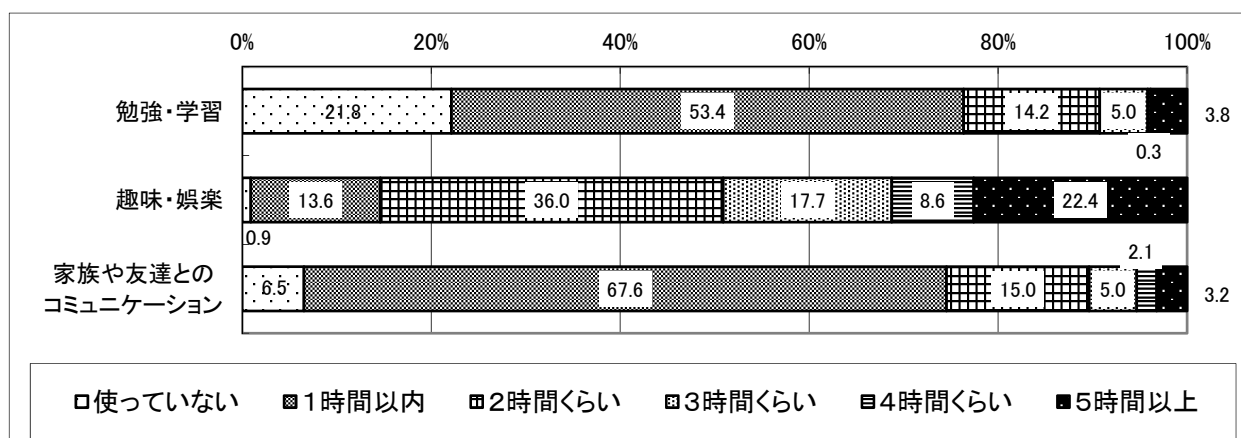
- 生活における様々な用途でインターネットが利用されていますが、特に趣味・娯楽に費やす時間が多い傾向にあります。
- 少年、青年のほとんどがSNSを利用しており、その用途は様々です。
- 一方で、約3割の少年が、インターネットやSNSの使い過ぎにより健康や生活に悪影響が出たという認識を持っており、保護者としても、インターネット利用による犯罪被害やトラブルに不安を抱えています。

問 あなたは、インターネットをどのようなことに使っていますか。(それぞれ1つ選択)

少年

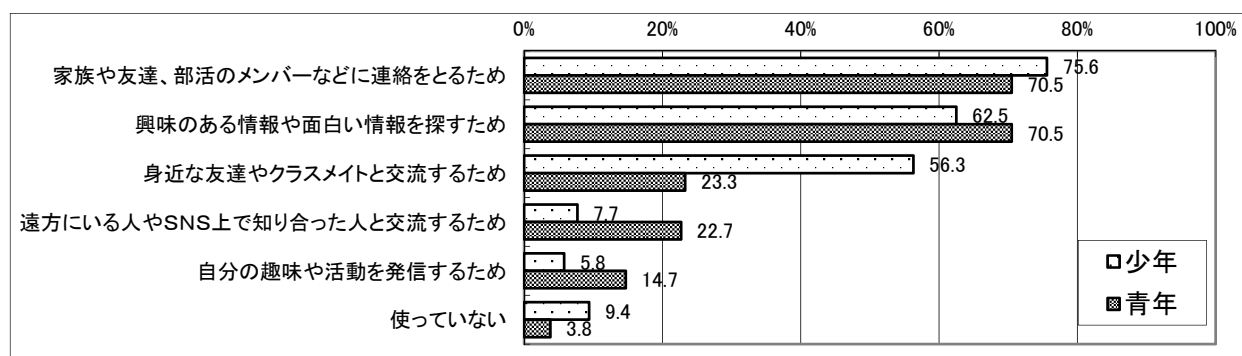


青年



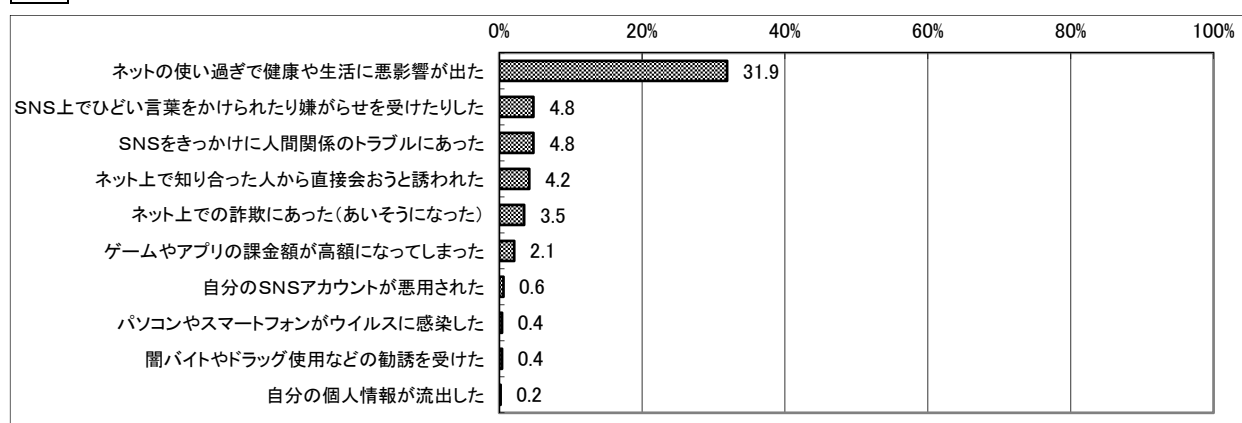
問 あなたは、SNS（LINE、X、Instagram、TikTok など）を利用していますか。利用している場合は、どのような用途に使用していますか。（3つまで選択）

少年・青年



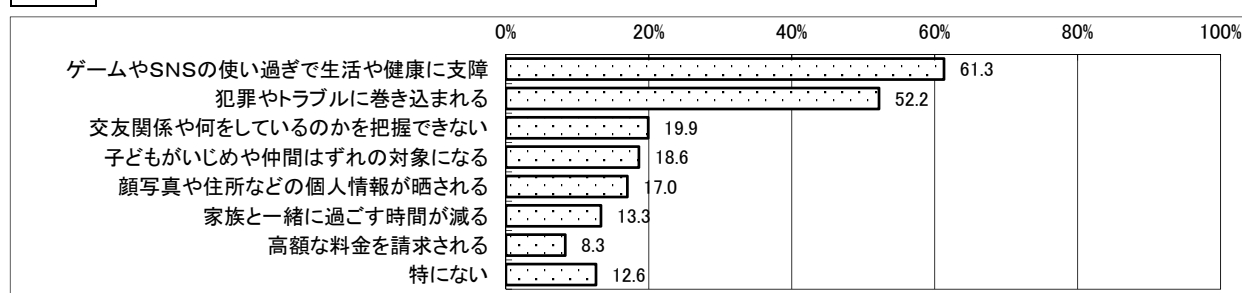
問 インターネットを利用して、次のような経験はありますか。（あてはまるもの全て選択）

少年



問 お子さんのスマートフォン・携帯電話の利用について不安に感じることはありますか。（3つまで選択）

保護者

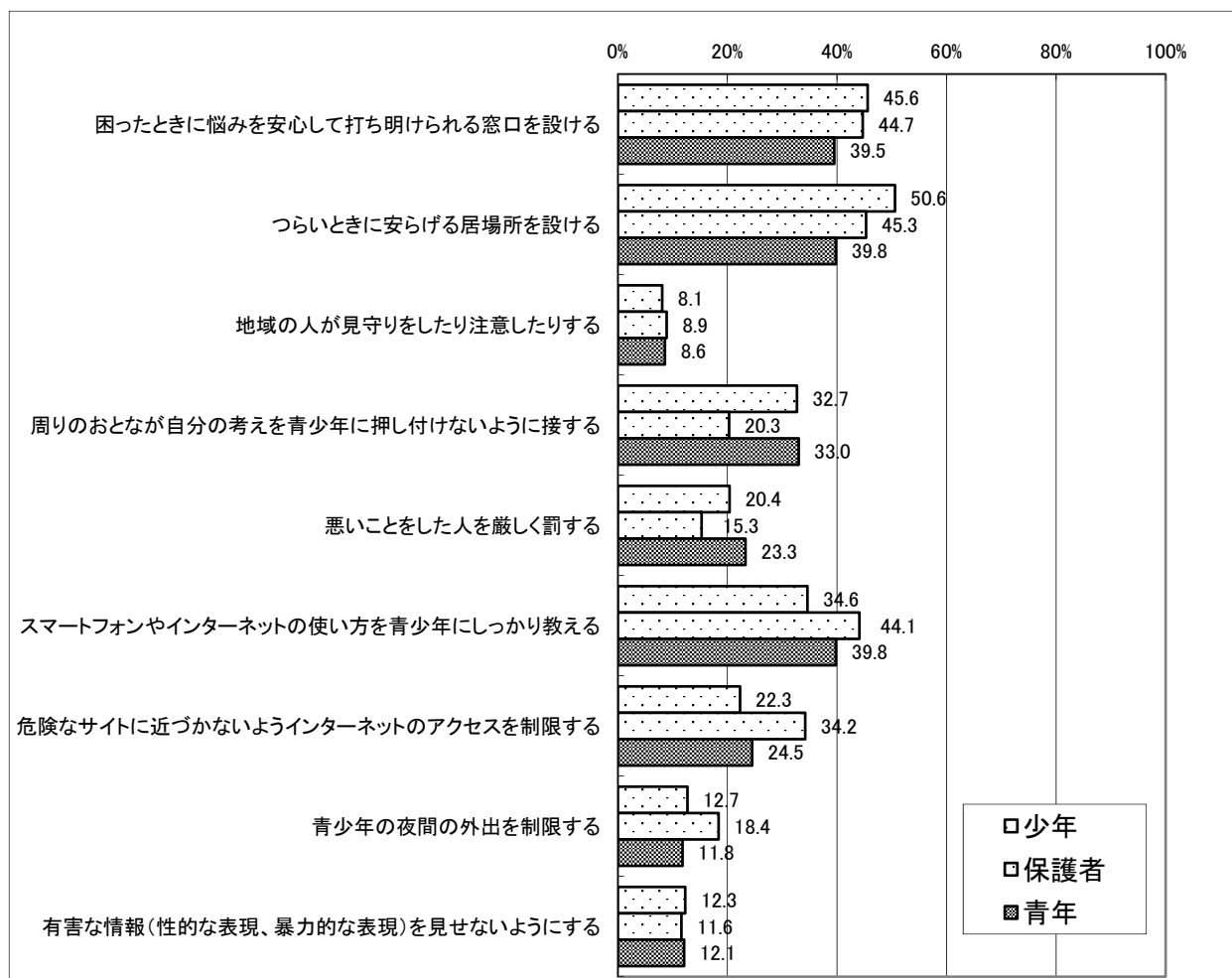


## 6 少年の非行・被害防止について

○ 少年の非行・被害防止に重要な取組として、「つらいときに安らげる居場所」、「困ったときに悩みを安心して打ち明けられる窓口」、「スマートフォンやインターネットの使い方に関する教育」が多く挙げられました。

問 あなたは、中学生・高校生が非行を行ったり犯罪に巻き込まれたりするのを防ぐため、どのような取組が重要だと思いますか。（3つまで選択）

少年・保護者・青年



## 令和6年度 青少年の健全育成に関する意識調査報告書（概要版）

岩手県環境生活部 若者女性協働推進室  
〒020-8570 岩手県盛岡市内丸10-1  
電話019-629-5337

令和7年4月

ホームページアクセス

<https://www.pref.iwate.jp/kurashikankyou/seishounendanjo/seishounen/index.html>